競馬場・レース篇

実況GIステイブル™

Grade One Stable

出走準備

馬を管理、調教、そしていよいよレースに出走。ローテーションを考慮、騎乗依頼、作戦指示…勝利のために万全の体制を整えなければならない。

出走登録

調教を行い、馬の調子がベストまで上昇し、いつでもレースに行ける状態になったら、まずは出走登録をしなければならない。

だが、レースに出走させようと思っていても、レース登録の条件を満たしていない場合は登録することができない。レースの種類は、

●本賞金による分類
(新馬、未出走、未勝利、500万下、900万下、1600万下、オープン)
●負担重量による分類
(馬齢、別定、定量、ハンデ)
●出走資格による分類
(馬齢戦、牝馬限定、牡セン馬限定、父内国産馬限定、外国産馬混合)

の3つに分類され、レースに登録するには、[本賞金による分類]と[出走資格による分類]の両方の条件に合ったレースしか登録できない。せっかく管理馬の調子をピークまで持ってきたのに、目標のレースが条件に合わなくて出走できなかった、というようにならないように、出走登録前には、番組表でしっかりとローテーションを確認しておこう。

出走登録の手順

出走登録は馬房画面で行う。出走登録する目安は、管理馬の調子が「馬体がほぼベストな状態」、「気合い乗りが抜群な状態」、「ピーク時」、「好調維持」、以上4つを厩務員がコメントしたときだ。それ以外は、力のある馬ならわからないが、ほぼ間違いなく惨敗するだろうから、出走登録は見合わせたほうがいいだろう。

出走を決めたらコマンドメニューで出走登録を選択。番組表を見て出走したいレースを選択する。さらに、騎手への騎乗依頼をして、出走登録は完了する。あとは、週末のレースに備えるだけだ。

勝利への騎乗依頼

出走登録時、騎手への騎乗依頼をするわけだが、ここでよく考慮しなければならないのは、騎手と馬の相性。新馬戦ならば話は別だが、管理馬と相性の悪い騎手が乗ると、レースでは、人気があっても負けてしまうことが多い。それでは、どこで騎手との相性を調べるか。一番わかり易いのは、レース後に、「相性が合わなかった」と騎手がコメントしたとき。前走でそういうコメントを聞いた場合は、引き続きの騎乗依頼は避けたほうがいい。また、レースの出走表の予想印も相性を示している。左から2番目の印は、騎手と馬の相性の良さを表している。たとえ一番人気になっても、この左から2つ目に印がない場合は、苦戦することを予想しておかなければならない。

レース後のコメントで相性が良いとわかった騎手が、引き続き騎乗してくれれば問題ないのだが、残念ながら、騎乗を引き受けてもらえなかった場合はどうしたらいいか。そこで、左の騎手相性表を見てほしい。

たとえば、右上の小島騎手と相性が

騎手相性表

びったりの馬の場合、この小島騎手の両隣にいる海老沢騎手、古河吉騎手もかなり良い相性であるということができる。逆に、正反対の位置にいる徳吉騎手は、その馬との相性は最悪ということになる。騎乗依頼のとき、誰に依頼するか迷った場合は、極力これを参考に、相性の良い騎手を選ぶようにしよう。

しかし、いくら相性が良くても、自厩舎専属以外の騎手はいつも乗ってくれるとは限らない。コンビを組んで連勝を重ね、念願のG1出走となっても、そのレースにより強いお手馬が出てくれば、そちらへ乗ってしまうのだ。彼らもプロ、責めることはできない。これを避けるには、馬を鍛えるのはもちろんだが、お目当ての騎手を決めてたくさん自厩舎の馬に乗ってもらい、調教師である自分とその騎手との友好度を高めるのも一つの手だ。騎手との友好度は、より格の高いレースに乗ってもらい、より良い成績だったときほど上がる。もし悪い結果だったり、乗り替わりをさせたりしても、下がることはないので安心を。

厩務員のコメント

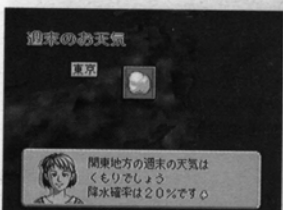
出走登録後、馬房画面に戻ると担当の厩務員が何らかのコメントを言ってくれる。このコメントが、結構重要な意味を持っているので、聞き逃さないようにしたい。重賞やG1に登録しているときは、頑張ってほしいとしか言わないが、条件戦やオープンでは、以下のようなコメントをしてくれる。

●勝てそうなレースの場合
「この馬の能力なら勝ち負けですよ」
●入賞の可能性がある場合
「強いのも何頭か出てきそうなので微妙ですね」
●勝てる望みがない場合
「恵まれないと辛そうな気もしますね」

「勝ち負けですよ」というコメントを聞けた場合は、かなりの確率で勝てるだろう。ただし、そのコメントは馬の能力に従ってのものなので、あとは騎手との相性、馬場状態などの要素が絡んで、最終的なレース結果に繋がるというわけだ。また、コメントで勝てる望みが低いとわかった場合、出走を思いとどまるか、敢えて出走するかは、調教師であるプレイヤーの判断にゆだねられることになる。出走させるからには勝ちたいというのが本音だが…。

週末の天気を確認

出走登録後に厩舎事務所の画面で天気コマンドを選択、週末はどうなるのかを確認してみよう。お天気キャスターは、お姉さんと、おじいさんの2人。お姉さんのほうが出現率は高いが、天気予報の的中率は低い。逆に、おじいさんはほとんど出てこないがその予報はかなり高い的中率だ。

あまり目安にはならないかもしれないが、雨で重馬場が予想される場合などは、重馬場の苦手な馬は回避するなり、そういう検討の一要素として、天気予報を見るといいだろう。

馬場の荒れ具合を検討

管理馬の中には、重馬場、荒れた馬場ではまったく走らない馬も結構いるはずだ。そこで馬場状態の検討に入るわけだが、天気予報で雨かどうかのチェックをして(気安めだが)、さらに考慮に入れたいのが、出走登録したレースが開催何日目のレースかということ。レースは1回の開催が4日に別れているので、それに伴って馬場状態にも変化がみられるようになっている。

まず開催初日は、雨が降らないかぎり芝の状態が最高の良馬場。それが1週ごとに徐々に荒れていくことになる。その段階は、荒れていない→内側が少し荒れている→内側からコース中ほどまで荒れているの3段階。たとえば中山で例をあげれば、第1回中山　1日は良馬場だけど、第1回中山　4日は、内側からコース中まで思いきり荒れた馬場になっているということだ。

したがって、自厩舎の馬の適性をしっかりと考えて、出走登録をしなければ、意外な凡走をしてしまう可能性がある。荒れた馬場を走っているとき、その馬がダート・重馬場適性がない場合には、影響を受け、最後の直線などは追っても通常より伸びないということになるのだ。

競馬場ステージ

いよいよ週末、レース当日。出走前には出走表の確認や作戦指示など、調教師としてやらなければならないことは多い。気が抜けない。

出走表の見方

競馬場ステージに突入すると、開催レースの一覧が表示され、さらに、自厩舎の馬が出走するレースの出走表に画面が切り替わる。

出走表には、そのレースに出走する馬の枠番、馬番、予想印、馬名、馬齢、負担斤量、騎手名、さらに十字キーで画面を切り替えると、前走でとった戦法、馬体重、重馬場の得意不得意が表示される。

この出走表の画面で、Aボタンを押すと、コマンドメニューと馬場状態が表示される。芝のレースの場合は、芝の荒れ具合が同時に表示される。

そこで、この出走表の中で注目したいのは、予想の印だ。左から4つ予想印がついているが、これはそれぞれ何を示すかというと、

左から順番に、

●馬の魅力＋スピード
●気性＋相性値
●瞬発力＋スピード
●根性＋スピード

を表している。

馬の魅力というのは、その馬の“強さ”のことで、その馬の血統の良さ、そして、これまでのレース実績が加味されている。またこの中には、その馬の距離適性に応じたスピード値の要素も含まれている。

気性＋相性値は、50ページの騎乗依頼のところでも触れたように、馬と騎手との相性の良さを示している。相性が良ければ良いほど重たい印を得ることができる。

瞬発力＋スピードはそのままの意味で、最後にどれだけ切れる脚を使うのかだ。ここに重たい印が打たれていれば、上がり勝負で瞬発力勝負になったときには期待できる。

根性＋スピードも読んだとおりで、勝負根性に重たい印が打たれていると、レース最後に大接戦の叩き合いになったときは、競り合いに負けることなく接戦をものにできる可能性が高い。

なお、スピードに関してだが、その馬の距離適性に合っているレースの場合は、その馬の能力どおりに評価されるが、距離適性より短い距離のレースでは、その馬のスピード値は半分に割られて計算される。また距離適性より長い場合は、その馬のスピード値は3分の1として計算される。

要するに、レース出走時、出走表の予想欄に重たい印（◎や○）が打たれるためには、距離適性がばっちりのレースで、血統をふまえたその馬の強さが、他の馬に抜きんでていることが必要なのだ。

予想印がすべて◎で、鞍上は相性ぴったりの騎手、馬場もこの馬に向いている、という場合は、安心してレースを観ていることができるだろう。負けの要素を探すのが難しいくらい、楽に勝利できるはずだ。

中京 高松宮記念 芝 1200m

枠	馬	予想	馬名	馬齢	斤量	騎手
4	8	｜｜｜｜	ダイキチデューク	牡5	57	植村
5	9	×｜×｜	アジノマッケンオー	牡6	57	四井
	10	○×△△	ウラワーパーク	牝6	55	田中勝
6	11	｜｜○○	サクレセカイオー	牡5	57	吉田
	12	×｜△×	ケーワンバイキング	騸6	57	武豊
7	13	◎◎◎◎	ゴシックアピール	牝5	55	岡部
	14	｜｜｜｜	マイショウマリーン	牝6	55	田島信
8	15	｜×｜｜	ジェットアラウンド	牡5	57	芹沢
	16	×△×▲	ヒゴーペガサス	牡6	57	横山典
	17	｜｜｜｜	スキイミュージック	牡5	57	福長

レース前の作戦指示

レース直前には、騎手に対して、的確な作戦指示をしなくてはならない。作戦指示の内容としては、

●騎手にまかせる
●ともかく大逃げ
●理想は単騎逃げ
●好位から抜け出せ
●3角まくりで
●末脚を生かす競馬
●後方から直線勝負
●しんがり追走で

の8パターンある。

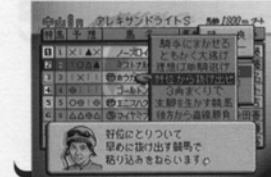
［ともかく大逃げ］はスタートダッシュでなりふり構わずぶっちぎって逃げる戦法。スピードとある程度のスタミナがなければ終盤バテてしまうが、サイレンススズカのような逃げ馬であれば有効な作戦だ。

［理想は単騎逃げ］は同型の馬がいなければ、単騎で逃げる戦法。ぶっちぎりというよりも、ぎりぎりまで他の馬を引きつけて走り、最後はそのまま逃げ切るという作戦だ。

［好位から抜け出せ］は馬群の先団に取りついて、早めの仕掛けで前残りの競馬を狙う戦法。特に雨の重馬場や荒れ馬場のときなどは、前残りのレースが多い傾向があるので、前の方で楽に追走しているほうがいいだろう。

［3角まくりで］は3コーナー辺りから早めに仕掛けて、そのままゴールまで押し切ってしまおうという戦法。だが、これも持続する末脚がない場合は、早仕掛けのためにゴール直前でバタッと止まってしまう可能性もある。

［末脚を生かす競馬］は道中は馬群の中で折り合いをつけながら追走。最後の瞬発力で差し切り勝ちを図る。好位差しのレースパターン。

［後方から直線勝負］は直線でバテないように道中は力をためて追走し、4

コーナーから直線にかけて、一気に押し出して差し切ろうという戦法。

[しんがり追走で] は読んで字のごとく、最後方を追走して、最後の直線で末脚を爆発させて追い込む戦法。

以上7つの戦法に関してはわかり易いのだが、[騎手にまかせる] という戦法は、その騎手が身に付けている得意戦法によって、微妙な違いが現われる。

まず、騎手の得意戦法が [好位差し] の場合、騎手は自分以外の馬の脚質が逃げ、先行の馬が多ければ [差し]、差し、追い込みの馬が多いときには [先行]、先行馬と差し馬が同じくらいの数であれば [3角まくり] で勝負する。

騎手の得意戦法が [自在] の場合は、距離適性を見て、適性に対して距離が極端に短い場合(1000m未満)は [ともかく大逃げ]、長い場合は [しんがり追走で] になる。距離適性が合っているときは、競馬場の直線の長さと自分の馬のダッシュ力を計った乗り方になる。

たとえば、

●直線が300m以下の場合
ダッシュ力が他馬より優れていれば [3角まくり]
ダッシュ力が他馬より劣っている場合は [先行]

●直線が301〜400mの場合
ダッシュ力が他馬より優れていれば [差し]
ダッシュ力が他馬より劣っている場合は [先行]

●直線が401m以上の場合
ダッシュ力が他馬より優れていれば [追い込み]
ダッシュ力が他馬より劣っている場合は [差し]

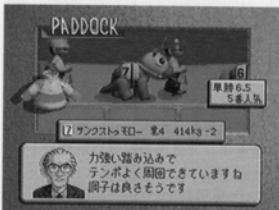
となる。

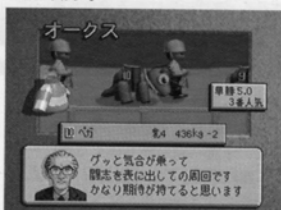
騎手の得意戦法が [好位差し] [自在] 以外の場合は、そのまま騎手の得意戦法が選択されて、レースに突入する。

パドックでは馬の表情を確認

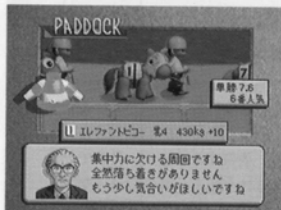
出走表の画面でAボタンを押してコマンドメニューを開き、パドックを選んで、出走表の馬名にカーソルをあわせると、その馬のパドックでの様子を見ることができる。パドックで確認することは、馬の歩く様子、馬体重の増減、単勝オッズ、そして解説者のコメントも聞き逃さないようにしたい。イレ込んでいる馬、気合いの乗っている馬、落ち着きのない馬と、本物の競馬以上に馬たちの表情が豊かなので、好不調がわかりやすい。また、十字ボタンを使って画面を送れるので、他の馬の様子も見ておいたほうがいいだろう。

パドックでの馬の様子と解説者のコメント

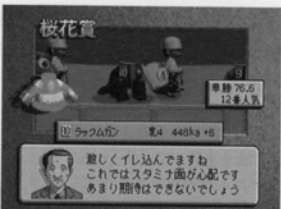
1.調子が普通のとき

“しっかりとした踏み込みで
元気よく周回を重ねています
好調さでは目を引きますね”

2.絶好調時

“頭を低くして
抜群に気合が乗っていますね
いま状態は絶好調でしょう”

3.調子が悪いとき

“どうしたんでしょう
ちょっと元気がありませんね
期待は次走以降でしょうか”

4.少しうるさいところを見せている

“ちょっと物見が激しいです
レースに対する集中力にかけている
気がします”

5.かなりうるさいところを見せている

“チャカついていますね
これだけイレ込んでしまうと
レースへいってどうでしょうか”

Grade One Stable

競馬場紹介&攻略

「実況G1ステイブル」で登場する競馬場は、海外を含め全部で12カ所。それぞれコースに特徴があって、戦法が変わってくるのでチェックしよう。

札幌競馬場

8〜9月に、夏競馬の締めを飾るのがこの札幌競馬場。直線は芝・ダートともに260mほどしかなく、差し馬、追い込み馬には圧倒的に不利な競馬場。

ローカル競馬場の特徴としてあげられる小回りで平坦、直線が短いという条件をすべて備え、当然のように逃げ馬、先行馬が有利の展開になるので、札幌競馬場のレースに出走登録をした場合は、単騎逃げや先行策を指示するといい。差し馬であれば、ローカル競馬場での鉄則といえる3コーナーからの一気のまくりで勝負しよう。

また、ローカル競馬場でありながらG2札幌記念が開催され、有力騎手も数多く集まるので、そこで騎乗依頼をして勝利を重ねられれば調教師ランキングも上昇することが期待できる。

函館競馬場

札幌競馬場とコースの形状、直線の長さ、コース全体の長さと、ほぼ同じ形の競馬場。3歳の新馬戦が最も早く開催されるため、仕上がりの早い3歳馬は、真っ先にこの函館でデビューという形になる。3歳最初の重賞函館3歳ステークスも開催され、どのレースも1000〜1200m。さらに3歳戦前半は素質だけで走る馬が多く、逃げ一手になる場合も多い。当然の戦法として、逃げ、先行でいくのが良いとは思うが、他の出走馬が先行、逃げ馬ばかりの場合は、あえて差しで勝負を賭けてみるのもいいかもしれない。まずは3歳最初の重賞を確実にゲットしたい。

福島競馬場

福島競馬場の最終開催は11月。ここでは、これまで未勝利の4歳馬が、最後の未勝利戦を勝ち抜くために一挙に集結する。これを勝たなければ、未勝利のまま500万下クラスに格上げ(?)になってしまうので、どの陣営も未勝利馬を抱えている場合は必死になるはずだ。馬場の特徴としては、他のローカル馬場と何ら変わりのない平坦、小回り、直線が短いという単調なコース。当然のように逃げ、先行馬が有利なので、ここで出走させるときは、できる限り先行前残りのパターンでレースを展開させたい。また、G1の裏番組的にG3が開催されるので、G1で力の足りない馬は、ここで重賞制覇を果たすというのもいいだろう。

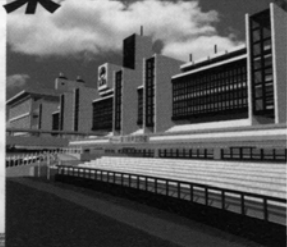
新潟競馬場

ローカルコースでありながら内回り、外回りコースのある新潟競馬場。しかも外回りの直線は東京競馬場に次ぐ長さを誇っている。それゆえに、ローカル競馬場でありがちな逃げ、先行馬の前残り決着が比較的少ない。直線の差し脚を持っている馬が、かなり有利な競馬場になっている。ただし、それは外回りコースに限ってで、内回りコースは直線も320mほど、もともとが平坦な馬場なので、内回りでは先行馬が有利なのは否定できない。

今後、改修する予定で、日本で一番長い1000mを超える直線コースが誕生するとも言われている。

中山競馬場

暮れのグランプリ有馬記念が開催され、まったくレースの流れが異なる内回り、外回り2種類の芝コースが特徴の中山競馬場。内回りだとコーナーのカーブがきつく、特に最後第4コーナーのカーブが急なので、そこから体勢を立て直して直線の差し脚を見せようとしても、わずか310メートルの直線では届かない場合が多い。中山に関しては、逃げ馬、先行馬が有利に展開することが多いが、ゴール前200mは急勾配の心臓破りの坂が続いているので、大逃げをする場合は、ここでばったりと止まってしまうかもしれない。戦法としては内枠で、先行前残りを狙うのが最善の策。差し競馬を狙う場合は3角まくりで、早めの仕掛けを心がけよう。追い込みは、よっぽど切れる脚がないかぎり届かないだろう。

東京競馬場

日本ダービー、オークスなど、年間7つのG1が開催される日本一広い競馬場。直線距離は芝コースで500m、ダートコースでも467mもある。コースは全体にアップダウンが激しく、直線半ば付近からなだらかな上り坂が200m続く。

スピードが図抜けていて、さらに十分なスタミナを併せ持っている馬なら問題ないが、単なる逃げ馬では、最後の直線で失速してしまうことは間違いない。

このコースでの作戦指示としては、多少出遅れても、最後の直線で差し返すことができるため、じっくり後方待機の差し勝負に徹するのがいいだろう。

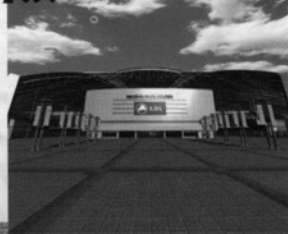
力のある強い馬が勝つ、ごまかしの効かない競馬場。それがこの東京競馬場なのだ。

中京競馬場

関西ローカルの競馬場ながら、東京、中山、阪神、京都の4競馬場以外で唯一G1が開催される左回りコース。直線は310mあるが、アップダウンはほとんどなく平坦。それに加え、コーナーも小回り。はっきりいって、強烈な逃げ馬がいれば、まず差しきり勝ちなど不可能な単調なコースだ。レコードも出やすく、ここで勝つには逃げ、先行でレースを展開させるか、差しで勝負をつけたい場合は2000mを超えるレースに出走するといいだろう。差し馬が勝つには、後方待機ではなく、早めの仕掛けで3角まくりの指示を出すのが最善策。

京都競馬場

比較的平坦で、外回り、内回りの2つのコースが存在する京都競馬場。芝内回りは直線約330m、芝外回りは直線約400m。内回りコースはコーナーが小回りなので、先行、逃げの馬がやや有利になっている。対して、外回りコースは直線が400メートルあるだけではなく、3コーナーから4コーナーにかけて続く坂、通称“淀の坂”で、コーナリングの際に遠心力で外に振り回される馬が続出するため、後方一気の馬でもインコースを突いて、豪快に差しきり勝ちをすることができる。京都攻略法としては、外回り、内回りを上手く走り分けができるかどうかがポイントになってくる。高速コーナーから最後の直線に突っ込むため、レコード決着になることも多いので、スピード能力の低い馬はキツイだろう。

阪神競馬場

最後の直線は芝・ダートコースともに約350m。日本の競馬場では唯一のおむすび型の競馬場。第3〜4コーナーの間には約100mの短い直線があり、この短い直線がレースでの仕掛けどころとなるため、ここでいいポジションをとれないと終いの直線一気は難しい。さらに、最後の直線は坂になっていて、上りきったあともまだ50mほどの直線があるため、坂を上ることにスタミナを使ってしまうと、最後の50mが地獄になってしまう。一見先行馬が有利のようだが、3〜4コーナーを上手く克服さえすれば、差し、追い込み馬でも十分に戦えるはず。逆に3コーナーでまくった場合は、直線最後で止まる可能性があるので、下手に前に出ず、差し脚に賭ける戦い方をお奨めする。

小倉競馬場

直線はダート、芝ともに280mほど。典型的なローカル競馬場の構造で、やはり先行・逃げ馬が有利になっている。

通常は2月、8月の開催になるが、'99年現在改修工事中で、中京や阪神競馬場などで代替開催を行っている。

ゲーム上では、改修前の小倉競馬場を再現しているので、自分の管理馬はやはり先行策で展開させるように作戦指示を出そう。

夏場は3歳のG3、小倉3歳ステークス、古馬のG3小倉記念と北九州記念が開催される。夏場を休養に当てない馬で先行力のある馬は、積極的に重賞をねらいにいこう。

ロンシャン競馬場

世界最高峰のレース凱旋門賞が開催されるロンシャン競馬場。芝のコースでありながら、日本とは異なり、良馬場でも時計のかかる重たい芝になっている。凱旋門賞は2400mの距離で争われるが、タイムが2分30秒くらいかかる。パワー型で、重馬場適性のある馬が有利といえるだろう。コースとしては京都と同様になだらかな下り坂で加速がつき、最後の平坦な直線になだれ込むという感じのレース展開になる。直線はかなり長いため、作戦としては差し、追い込みが有利。凱旋門賞に挑戦するなら、パワーとスタミナ、そして瞬発力を兼ね備えた、ステイヤーを送り込もう。

チャーチルダウンズ競馬場

アメリカの4歳クラシック最高峰のレース、ケンタッキーダービーが開催されるチャーチルダウンズ競馬場。アメリカでは主流の左回りコースで、日本の競馬場では見られない外側がダートで内側に芝コースがあるオーバルコース。このコースの最後の直線は約400mと比較的長く、差し、追い込み馬でも十分届く距離である。ただし、アメリカの競馬は比較的ハイペースで前残りの競馬になりがちで、じっくりと後方待機して、終いの脚で勝負しようと思っても届かなかったりする。自分の馬の脚質に合わせるか、騎手におまかせするのがベストかもしれない。

「実況G1ステイブル」ではケンタッキーダービーだけではなく、ブリーダーズカップ全5レースもここで開催される。

Grade One Stable

レース

ついにレース。作戦指示はしっかりと行った。あとは馬の力を信じるだけ。レース後は笑ってウィナーズサークルに立ちたいところだ。

本馬場入場

出走表画面でレースの作戦指示を出し、パドックで馬の様子を確認。いよいよレースを迎えるわけだが、その前に、本馬場入場で、返し馬の様子も確認しよう。なぜなら、パドックでイレ込んでいた馬でも、この本馬場入場では落ち着きを見せたり、パドックで落ち着いていた馬が、馬場入りして気合いを入れたりと、また新たな表情を見せてくれるからだ。パドックでイレ込み、本馬場入場でもイレ込みを見せる馬は、次回のレースから矯正をするなりして、イレ込みの対策をしなければならない。レースで負けたことを漠然と受け入れるのではなく、このパドック、本馬場入場で、負けた原因がわかることもあるので、結果だけではなくあらゆることに目を光らせていなければならない。

レーススタート

レースがスタートしたら、あとは、指示を出した騎手に任せるだけだ。ただし、注意深く見ていたいのは、レース中の馬の表情である。周りをきょろきょろしたり、下を気にしたり、様々な表情を見せている。パドックや本馬場入場のときのイレ込みを引きずって、レースでも最初っから掛かりっぱなしの馬もいる。パドック、本馬場入場と同様に、レーススタート後も、馬の動きからは目を離すことはできないのだ。

レース中の馬の表情

道中、馬たちは様々な表情を見せてくれる。その表情が何を表しているのか、それを理解して、次のレースへの教訓としよう。

ノーマルな状態
馬がまったく気負いもなく、力が入っていないリラックスして走っている状態。

気合いが入っている
馬が好調に走っている状態。ただし、ちょっと間違うとイレ込んでしまう場合もある。

不調な場合
体調が悪いのか、レースでの行きっぷりが悪い。走っている間はずーっとこの状態。

馬っ気、フケ
他の馬を気にしているのだが、気にしていた馬が異性だった場合、発情してしまう。

スタミナ切れ
出走したレースが距離適性より長いか、オーバーペースでスタミナが切れたときの表情。

他の馬を気にする
気性が臆病な馬に見られる傾向で、他の馬を気にしながら走っている状態。

掛かっている
レースでまったく折り合いがつかず、道中掛かりっぱなしの状態。スタミナ大幅ロス。

流れに乗れず状態
スタートの出遅れや、騎手のたずなさばきによる動揺などが馬の表情に表れた場合。

故障発生
レース中に何らかの故障が発生したときの表情。最悪の場合は予後不良に。

脚元を気にする
ソエでレースを走っているか、芝・ダートや重馬場の適性が合わないレースで走っている場合。

レース勝利～口取り式

レースはよどみなく進み、最後の直線へ。逃げ、先行、差し、追い込み…馬の脚質にもいろいろなタイプがあるが、すべての馬の目標はゴール板を通過すること。激闘の末、ついにゴールイン。果たして自分の馬は勝ったのか?

着順掲示板には1着から5着までの馬が表示。もし自分の馬が勝っていれば、そのまま口取り式へと移行する。新馬戦～オープン、重賞、G1…と、口取り式もクラスが上がるごとにグレードアップしていく。

また、G1や重賞に勝利したときは、ゴール板を駆け抜けたあとにウイニングランが待っている。その後、全馬着順表が表示され、騎手のコメントを聞くことができる。また、この全馬着順表画面で、トリガーボタンを押すとレースをリプレイできる。G1に勝利したときなどは、その余韻に浸るために、じっくりとリプレイを見るのもいいだろう。

レース後のコメントは聞き逃さないように…

レースを終えて、全馬着順表が表示されたら、カーソルで自厩舎の馬を選択すると、騎手のコメントを聞くことができる。特にレースで負けた場合は何が敗因だったのかを聞きのがしてはならない。以下レース後のコメントを集めてみたので、これを参考に、次のレースに向かって頑張ってほしい。

「今日は展開が向きましたね。会心の勝利ですよ」
→騎手の得意の作戦で勝ったとき。ハマればいいが、次走も同じように上手くいくとは限らない。ただ、騎手の作戦に素直にしたがっているということは、馬自体が気性が素直で賢いということか?

「道中気の悪いところを見せましたが、何とか辛抱してくれました」
→気性の荒い馬で、道中、多少掛かるような場面もあったが、何とか持ちこたえた。だが、次回からは、この気性の矯正策を考えなくてはならない。気性が荒い馬でも掛からずに辛抱する場合もあるが…。

「他の馬を気にしていましたが最後までこらえてくれました」
→気性が臆病なため、周りを気にする傾向がある。メンコやシャドーロールなどで、レースに集中できるようにしなければならない。

「ダートはどうかと心配でしたが、何とか走ってくれました」
→もともとダートは苦手。次回以降はダートよりも芝で勝負すべき。一方、逆のパターンで、「ダートとの相性がバッチリ」というコメントを聞くこともある。そういう馬はダート路線を歩ませるといい。

「馬場状態が心配でしたが何とか辛抱してくれました」
→重馬場は不得意な馬。なるべくなら良馬場のレースで使うようにしたいところ。

「私との呼吸もあってなかったようですし」
→馬と騎手の相性が合っていない場合。このコメントが一度でも出た場合は、次回は騎乗依頼しないのが無難だ。

「馬の調子がいまひとつでした」
→調整不足の成果、馬の調子が良くなかった。既舎スタッフとともに、もう少し馬の管理をしっかりすべき。

「相手が強すぎました」
→自分が2着の場合。馬自身は良いレースをしているのだが、相手があまりにも強かった。

「あの出遅れも大きくひびきました」
→スタートで出遅れて、レースの流れに乗れなかった。次回に期待するしかない。

「馬っ気を出していたのでそれが敗因かもしれません」
→牡馬の場合、馬っ気を出していたために、本来の力を発揮できなかった。同様に、牝馬の場合はフケを起こして本領を発揮できない場合がある。

「直線をむいてから脚に切れがありませんでした」
→瞬発力のない馬に差し、追い込み、しんがり追走を指示して負けたとき。このような馬は、できるだけ先行前残りを狙おう。

「道中は気持ち良く走ってくれていたのですが…」
→大逃げを指示して負けたときのコメント。最後にはスタミナがなくなってしまったということで、次回のレースでは脚を溜める戦法をとってみよう。

「この距離のレースでは流れが忙しすぎました」
→馬の距離適性より短いレースだったということ。次走は、もう少し長めのレースで使ってみるといいだろう。

「もう少し距離が短いほうがスピードが活きてくると思います」
→距離が明らかに長かったときのコメント。距離適性の棒グラフを確認して、もう少し短いレースに登録すべきだ。

「このメンバーでは仕方なしといったところです」
→メンバー的に力が足りなかったのか、不利が重なったのか、最下位だったときはこのコメント。1番人気で惨敗、最下位になっても、このメンバーでは仕方なしというコメントが…。

「先生、申し訳ありません
私が無理させたために…」
→専属騎手がレース中に故障発生させてしまった場合のコメント。

Grade One Stable

アクシデント

競馬では、トレーニングやレース中のアクシデントはつきもの。未然に防げるものは回避し、防げないものは早期解決に向けて対処しよう。

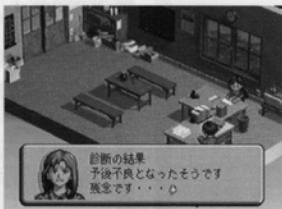
レース中のアクシデント

実際の競馬でも、競走馬がアクシデントに見舞われることは多い。競走馬の故障から、騎手の負傷まで様々あるが、「実況G1ステイブル」の中でも、その類のアクシデントがリアルに盛り込まれている。気をつけていても発生してしまうことなので、アクシデントイベントが起こったときはあきらめるしか…。

競走馬の故障発生

競走馬の故障発生は、レース中はもちろん、調教の際にも発生することがある。

もともと競走馬は400～500kgの重さを細い脚で支えているため、脚に異常が見られることは日常のことといっても過言ではない。調教段階で、ソエやハ行、屈腱炎などの故障に見舞われることもあるが、大事に至ることはないので、時間をかけて治療に当たればいい。だが、レースの途中で故障を発生、しかもそれが骨折だったりすると、競走中止→予後不良（ケガの状態が重症で、手の施しようがない。苦痛から開放させるために安楽死の処置がとられること）という最悪の事態になりかねない。

実際の競馬でも、年に何件も予後不良になる競走馬が存在している。ゲームの中だけでも、そのような悲しい出来事には遭遇したくないところだ。

落馬

これは騎手に関わってくるものだが、自厩舎の専属騎手は様々な要因によって、レース中に落馬してしまうことがある。落馬した場合は入院することになるが、ケガの程度によって入院期間の長さは変わってくる。たとえば、2カ月間入院であれば、その間は、騎乗できないが、無事退院すれば職場復帰できる。退院後、後遺症によって、馬が怖くなってしまうとか、乗れなくなってしまうということはないので、回復すれば心配はいらない。

国内GIレース

G1制覇、それは調教師なら誰もが目指す大目標だ。ローテーションを考えながら、数多くのG1タイトルを獲得できるように頑張ろう。

国内のG1は年間全部で20レース。ダートのG1フェブラリーSに始まり、4歳クラシック、古馬中長距離、古馬短距離と、多種多様なレースが開催される。

だが、このG1レースはどんな馬でも出られるわけではない。特に、4歳クラシックレースは、牡馬、牝馬ともにトライアルレースが設定されていたり、獲得賞金によって出走できなかったり、最高の栄誉を獲得するには、それに挑戦するに値するような馬でなければならないということだ。

この後に、G1に出走可能な条件を紹介するので、それをチェックして、自分なりのローテーションを組んで挑戦してほしい。G1を3勝以上した馬は、引退後に顕彰馬として殿堂入りする。G1完全制覇はもちろん、数多くの顕彰馬を輩出できたら、これは調教師冥利に尽きるというものだ。

国内GIレース出走条件

フェブラリーS

開催日	1月5週　東京／ダート1600m
出走資格	5歳以上
出走条件	1600万下クラス以上

桜花賞

開催日	4月2週　阪神／芝1600m
出走資格	外国産馬を除く4歳牝馬
出走条件	本賞金401万円以上 チューリップ賞3着以内 4歳牝馬特別(桜花賞TR)3着以内 アネモネS2着以内　のいずれか

皐月賞

開催日	4月3週　中山／芝2000m
出走資格	外国産馬を除く4歳牡、牝馬
出走条件	本賞金401万円以上 弥生賞3着以内 スプリングS3着以内 若葉S3着以内　のいずれか

天皇賞・春

開催日	5月1週　京都／芝3200m
出走資格	外国産馬を除く5歳以上牡、牝馬
出走条件	1600万下クラス以上

NHKマイルC

開催日	5月3週　東京／芝1600m
出走資格	4歳牡、牝馬
出走条件	本賞金401万円以上 NZT4歳S3着以内　のいずれか

高松宮記念

開催日	5月4週　中京／芝1200m
出走資格	4歳以上
出走条件	4歳馬は900万下クラス以上 5歳以上は1600万下クラス以上

オークス

開催日	5月5週　東京／芝2400m
出走資格	外国産馬を除く4歳牝馬
出走条件	賞金1200万円以上 4歳牝馬特別（オークスTR）3着以内 スイートピーS2着以内 桜花賞4着以内　のいずれか

日本ダービー

開催日	6月1週　東京／芝2400m
出走資格	外国産馬を除く4歳牡、牝馬
出走条件	本賞金1200万円以上 青葉賞3着以内 プリンシパルS2着以内 皐月賞4着以内　のいずれか

安田記念

開催日	6月2週　東京／芝1600m
出走資格	4歳以上
出走条件	4歳馬は900万下クラス以上 5歳以上は1600万下クラス以上

宝塚記念

開催日	7月2週　阪神／芝2200m
出走資格	4歳以上
出走条件	本賞金4000万円以上

秋華賞

開催日	10月4週　京都／芝2000m
出走資格	4歳牝馬
出走条件	本賞金1600万円以上 ローズS3着以内 クイーンS3着以内　のいずれか

天皇賞・秋

開催日	10月5週　東京／芝2000m
出走資格	外国産馬を除く4歳以上牡、牝馬
出走条件	1600万下クラス以上

菊花賞

開催日	11月1週　京都／芝3000m
出走資格	外国産馬を除く4歳牡、牝馬
出走条件	本賞金1600万円以上 神戸新聞杯3着以内 セントライト記念3着以内 京都新聞杯3着以内　のいずれか

エリザベス女王杯

開催日	11月2週　京都／芝2200m
出走資格	4歳以上牝馬
出走条件	1600万下クラス以上

マイルCS

開催日	11月3週　京都／芝1600m
出走資格	4歳以上
出走条件	1600万下クラス以上

ジャパンカップ

開催日	11月4週　東京／芝2400m
出走資格	4歳以上
出走条件	本賞金6000万円以上

阪神3歳牝馬S

開催日	12月1週　阪神／芝1600m
出走資格	3歳牝馬
出走条件	本賞金401万円以上

朝日杯3歳S

開催日	12月2週　中山／芝1600m
出走資格	3歳牡馬、セン馬
出走条件	本賞金401万円以上

スプリンターズS

開催日	12月3週　中山／芝1200m
出走資格	4歳以上
出走条件	1600万下クラス以上

有馬記念

開催日	12月4週　中山／芝2500m
出走資格	4歳以上
出走条件	本賞金5000万円以上

Grade One Stable

海外G1への挑戦

海外G1制覇。開業当初かかげた目標だが、出走するためには馬主の意志と出走条件をクリアしなければならない。待望の海外G1を勝利すると…。

ついに大目標が見えてきた〜海外G1へ挑戦!

国内ではG1を完全制覇、年間成績でも調教師部門は総ナメ…でもなぜだか、海外遠征への挑戦という声が馬主からはかからない…何がたりないのか、人間関係、調教師としての信頼度のなさ？と思わず思い悩んでしまいそうだが、実は、「実況G1ステイブル」では、海外への挑戦の窓口が最初は狭くなっているだけの問題なのだ。

まず、海外G1は7レース用意されているのだが、それぞれの厳しい出走条件をクリアしなければならない。

しかし、それ以上に辛いのは、海外レースに積極的に挑戦しようとする馬主はエックス牧場の木村氏とマキシムファームの緑川氏の2人だけということだ。つまり、最初は2人の所有馬でなければ海外には挑戦できないのだ。

だが、一度海外レースを制覇すれば、上記2人の馬主以外の所有馬でも、レースの出走条件を満たせば、遠征できるようになる。一刻も早く海外G1勝利を上げられるように頑張るしかない。

ちなみに、馬主から海外遠征の打診があったときに、その馬が複数のレースへの出走条件を満たしていた場合（BC・MILEとBC・SPRINTなど)、一つ目を断るとすぐにもう一つを聞いてきてくれる。

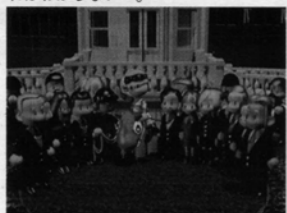
海外G1レース挑戦への流れ

海外G1挑戦の条件を満たすと、馬主から海外挑戦のプランが持ちかけられる。そこで、ハイかイイエを選択する。ハイと答えれば、晴れて海外G1への挑戦権を獲得したことになる。

レース1カ月前には出走予定馬と厩務員、調教助手が先に現地へ向かい、最終的な調整を行う。調教師であるプレイヤーは、馬が海外に行ったあとも日本から調教の指示を出す。注意したいのは、トレーニングパターンがダート、角馬場、引き運動しかないこと。太めの場合は追い切りをかけるなどして万全の体制に調整していこう。

そして、いよいよレース開催週には調教師であるプレイヤーも、アシスタントのエリカとともに現地に出発する。日本と違い、開催週は追い切りができないので注意。前の週までにしっかり仕上げておこう。また、レース直前の出走表では、他馬の脚質が見られないので、レース展開が読めない。騎手を信じて“おまかせ”指示するのがベストか…。ちなみに騎手は前走で騎乗した騎手になり、自由に選ぶことはできない。そして、いよいよレースのスタートだ。

海外G1レースの舞台であるチャーチルダウンズ、ロンシャンの両競馬場は、日本の競馬場と比べて、かなり独特な作りになっている。馬場状態もよくわからないので、正攻法で、その馬の得意な戦法で走らせて、力を存分に発揮させることができればいいだろう。

レースが終わったとき、あなたの馬が、競馬の歴史の1ページに名を刻むことができるのかどうか。それは海外に挑戦した調教師、そうあなたでなければわからない…。

海外G1制覇を達成すると、エンディングムービーを見ることができる。

また、海外G1制覇後は、厩舎事務所でデータのコマンドを実行し、トロフィー室を見てみると、制覇した海外G1の部屋ができている。

海外GIレースと出走条件

ケンタッキーダービー

開催日	5月1週　アメリカ
競馬場	チャーチルダウンズ／ダート2000m
出走資格	4歳
出走条件	4歳の3月2週までに重賞を3勝以上 4歳の3月3週まで馬房に入厩している故障がない馬

凱旋門賞

開催日	10月1週　フランス
競馬場	ロンシャン／芝2400m
出走資格	4歳以上牡牝（騸馬は不可）
出走条件	「日本ダービー」「オークス」「天皇賞・春」のいずれかを含む2000m以上のG1を3勝以上 4歳以上で8月4週までに馬房に入厩している故障がない馬

BC・TURF

開催日	11月1週　アメリカ
競馬場	チャーチルダウンズ／芝2400m
出走資格	4歳以上
出走条件	「宝塚記念」「有馬記念」のどちらかを含む2000m以上のG1を3勝以上 4歳以上で9月3週まで馬房に入厩している故障がない馬

BC・MILE

開催日	11月1週　アメリカ
競馬場	チャーチルダウンズ／芝1600m
出走資格	4歳以上
出走条件	「安田記念」「マイルCS」のどちらかを含む1600m以下のG1を3勝以上 4歳以上で9月3週まで馬房に入厩している故障がない馬

BC・CLASSIC

開催日	11月1週　アメリカ
競馬場	チャーチルダウンズ／ダート2000m
出走資格	4歳以上
出走条件	「スプリングS」「弥生賞」のどちらかを勝ち、「皐月賞」を勝つ 4歳以上で9月3週までに馬房に入厩している故障がない馬

BC・SPRINT

開催日	11月1週　アメリカ
競馬場	チャーチルダウンズ／ダート1200m
出走資格	4歳以上
出走条件	「スプリンターズS」を含む1600m以下のG1を3勝以上 4歳以上で9月3週まで馬房に入厩している故障がない馬

BC・DISTAFF

開催日	11月1週　アメリカ
競馬場	チャーチルダウンズ／ダート1800m
出走資格	4歳以上牝馬
出走条件	「桜花賞」を勝ち「武蔵野S」「エルムS」に勝つ。あるいは「桜花賞」を勝ち「フェブラリーS」を勝つ 4歳以上で9月3週までに馬房に入厩している故障がない馬

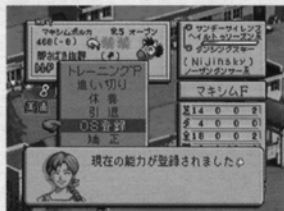
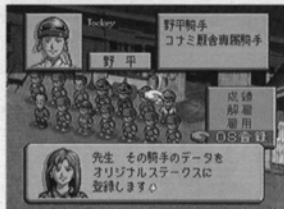
Grade One Stable

オリジナルステークス

自分が育てた競走馬と専属騎手を他の人と戦わせたい。そんな要望をかなえるのがオリジナルステークス。5頭以上の馬を集めて対戦してみよう。

出走準備

「実況G1ステイブル」では、プレイヤー同士がオリジナルステークスモードで、お互いの管理馬・専属騎手による、対戦レースを楽しむことができる。

競走馬同士を戦わせるモードと、専属騎手同士を戦わせるモードの2モードがある。ただし、レースをするには、最低5頭の競走馬、最低5人の専属騎手が必要になるので、出走準備として事前にOS登録をしなければならない。

競走馬は馬房画面で登録したい馬を選び、コマンドメニュー“OS登録”で登録する。

専属騎手はスタッフ画面で登録したい専属騎手を選び、コマンドメニュー“OS登録”で登録する。

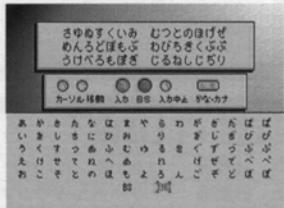
登録が終わったら、コントローラパックにセーブする。コントローラパックには最大30頭の競走馬と、30人の専属騎手が登録できる。

オリジナルステークスの開催

オリジナルステークス画面で、コマンドメニュー“レース”を選択。競走馬モードか騎手モードかを選択、さらに十字キーで競馬場、レースの距離を設定して、コースセレクトは完成。最後に出走する競走馬（騎手）を登録して、準備整って体制完了！

あとは、通常のレースのように、出走表、パドックの様子などを確認し、レースに突入するだけだ。ただし、オリジナルステークスでは、騎手に対して作戦指示はできない。つまり、これまで育ててきた専属騎手の実力、そして競走馬の能力がごまかしなく発揮されるということだ。

データ交換

OS登録された競走馬と騎手を、コントローラパック間で交換することもできる。N64本体の1P、2Pにコントローラパックを差したコントローラを接続して、編集画面でデータのコピー、削除、並べ替えなどができるのだ。

さらには、コントローラパック間のデータ交換だけではなく、パスワードを入力することで、強い馬のデータを簡単に入力できる。

また、同時に発売されたゲームボーイ版「ポケットG1ステイブル」で登録された競走馬のデータパスワードを、64版のコントローラパックに入力・登録することが可能だ。

64版の最強馬とゲームボーイ版の最強馬が、真の最強馬を目指して激突する場面も見られるというわけだ。